

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	心理学				担当教員名		谷口 幸一		
実務経験等		・臨床心理士(No.02304)：1990年～現在(資格更新回数7回資格有効期限：2025年度末まで)一般社団法人神奈川県臨床心理士会の理事長(2017-2019)並びに、一般社団法人日本臨床心理士会の代議員(2019-2024)として活動中。 ・東京都目黒区立の教育研究所にて6年間、幼児、児童期の発達障害児の認知機能の査定並びに不登校児の遊戯療法の実施や親のカウンセリングを実施。 ・職歴としては、1979～2018年の間、大学教員として、心理学分野の科目（発達心理学、体育心理学、臨床心理学、老人心理学、福祉心理学）の講義を担当。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		様々な患者に対応していくために必要な心理学の基礎的な考え方を学ぶ。									
到達目標		治療技術だけではなく心理的なケアができるようにカウンセリング技術のコツをつかむ。									
使用教材		「イラストレート心理学入門」（第3版）誠信書房						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	心理学レディネステスト					9	認知症と記憶				
2	生涯発達の心理					10	認知症の非薬物療法				
3	性格と精神分析学					11	高齢者とのコミュニケーション				
4	適応と臨床心理					12	成人期－他者・社会との関わり				
5	適応と臨床心理					13	中年期－人生の折り返しからの発達				
6	学習・記憶の加齢現象					14	対人と社会心理①				
7	感覚・知覚の加齢現象					15	対人と社会の心理②				
8	認知症の心理学的理解										
特記事項		Power Point,DVD,WiFi動画、性格検査用紙									

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	公衆衛生学Ⅱ				担当教員名	遠藤 水晶			
実務経験等		鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		「衛生学・公衆衛生学」は衛生学という基礎の上に成り立っている公衆衛生学という社会医学の両方を複合した教科である。									
到達目標		個人衛生、環境衛生、公害、母子保健、学校保健、地域保健、産業保健、食品衛生、精神衛生など広範囲にわたり、医療従事者の基本知識と保健活動の実力を養うことを目的とする。									
使用教材		「衛生学・公衆衛生学」医歯薬出版						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	オリエンテーション					9	感染症とその対策				
2	産業保健とは					10	感染症とその対策				
3	業務上の疾病とその対策					11	消毒法の定義と種類				
4	精神保健とは					12	消毒の実際				
5	精神保健の現状					13	疫学とは				
6	母子保健					14	保険統計（人口統計・疾病統計）				
7	成人保健					15	まとめ				
8	学校保健										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	リハビリテーション医学				担当教員名		北原 奈那		
実務経験等		・ 総合病院の鍼灸部門にて7年研修生(はり師きゅう師マ師) ・ レディースクリニックにて2年勤務(はり師きゅう師マ師) ・ 現在は鍼灸院リンパ浮腫治療室を開業(はり師きゅう師マ師)と腫瘍内科にて緩和ケア等に従事 ・ 様々な病院の研修、勤務経験を活かし医療連携に必要な知識を理解する授業を行う									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		リハビリテーションの概念や各疾患のリハビリテーションを理解する。鍼灸施術や機能回復に応用できる知識を修得させる。									
到達目標		各疾患の特徴とリハビリテーションについて学び、鍼灸マッサージ師として仕事をする際に役立てる									
使用教材		「リハビリテーション医学 第4版（東洋療法学校協会教科書）」 医歯薬出版						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	整形外科し疾患のリハビリテーション 上肢					9	ポリオ・虚血性心疾患のリハビリテーション				
2	整形外科し疾患のリハビリテーション 下肢					10	呼吸器疾患のリハビリテーション				
3	整形外科し疾患のリハビリテーション 脊椎					11	糖尿病・腎尿路のリハビリテーション				
4	整形外科し疾患のリハビリテーション 脊髄損傷					12	がんのリハビリテーション				
5	整形外科疾患のリハビリテーション 切断・関節リウマチ					13	高齢者に多い疾患のリハビリテーション				
6	脳血管障害のリハビリテーション					14	小児に多い疾患のリハビリテーション				
7	パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリテーション					15	まとめ				
8	筋萎縮性側索硬化症・末梢神経障害のリハビリテーション										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	病理学概論-2				担当教員名		小園 知		
実務経験等		大学教員として38年勤務。病理学教員として大学に勤務していた経験から、病変の基礎的知識を習得する内容の授業を行う。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		講義内容のプリントを配布。講義はすべてパワーポイントを用いて行う。									
到達目標		身体の一般的な病的変化の定義、分類についての基本的知識を得、その病的変化の様相、機序を理解することで、臨床医学を科学的に理解できる能力を身に付ける。医学用語の概念を理解しそれを適切に使えることを目標とする。病理学基礎、病因、循環障害、退行性病変、進行性病変、炎症、免疫異常とアレルギー、腫瘍の総論について学ぶ。									
使用教材		「病理学概論」 医歯薬出版 3100円＋税						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	退行性病変：細胞損傷と物質沈着					9	免疫と免疫異常				
2	萎縮、蛋白質代謝障害と疾患					10	腫瘍：定義と分類				
3	資質、糖質代謝障害と疾患					11	良性と悪性腫瘍の相違				
4	資質、糖質代謝障害と疾患					12	腫瘍の発生病理				
5	色素代謝障害、結石					13	病因論				
6	細胞死と死、加齢と老化					14	先天異常				
7	炎症：原因と経過					15	総括				
8	炎症の各型：肉芽腫性炎										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ				担当教員名		星 いつ子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック、内科クリニック、漢方薬局、往診治療などの経験をもとに、当該授業を受け持つ。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		講義はプロジェクターを使用し、配布したレジュメに記入するスタイルで行う。前半単元が終了した段階で国家試験問題を解き、習熟度を測る。									
到達目標		第13章『その他の領域』に含まれる各科の代表的な疾患について学習し、鑑別診断に応用する能力の礎を養う。									
使用教材		「臨床医学各論」 医歯薬出版 5500円						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	オリエンテーション 小児科疾患1					9	眼科疾患				
2	小児科疾患2					10	耳鼻科疾患 1				
3	一般外科					11	耳鼻科疾患 2				
4	婦人科総論					12	精神科疾患1				
5	婦人科					13	精神科疾患2				
6	婦人科疾患					14	心療内科				
7	前半復習					15	加齢に伴う病態				
8	皮膚科疾患										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅲ				担当教員名		北原 奈那		
実務経験等		・都内の腫瘍内科にて非常勤鍼灸師・鍼灸師として臨床に当たった経験から、知っておくべき神経疾患の知識を授業する。 ・臨床経験より必要な鍼灸の歴史、意義、施術に当たっての知識を講義、実技を行う。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		疾患についての概念と症状を理解する。									
到達目標		第11章『神経疾患』に含まれる各科の代表的な疾患について学習し、鑑別診断に応用する能力の礎を養う。									
使用教材		「臨床医学各論」 医歯薬出版 5500円						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	神経の症状					9	変性疾患				
2	脳血管障害					10	認知症				
3	脳梗塞					11	筋疾患				
4	脳出血					12	運動ニューロン疾患				
5	感染性疾患					13	末梢神経疾患				
6	脳腫瘍					14	末梢神経疾患				
7	脊髄腫瘍					15	まとめ				
8	変性疾患										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	薬理学・漢薬学				担当教員名		稲津 正人、伊藤 直樹		
実務経験等		稲津先生：大学医学部教授として薬理学の教育に従事し、基礎医学の教育研究の経験をもとに、当該科目の教育を行う 伊藤先生：薬学部講師（薬剤師、薬学博士）として、東洋医学や漢方薬の研究や教育に長年従事していた経験を活かし、漢方薬の試飲や生薬の試食など五感を通して最低限おさえておきたい漢方薬の知識を深められる授業を行う。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		【薬理学】講師：稲津正人 毎回ハングアウトを配布し、板書及びパワーポイントを用いた図説による講義を行う。 【漢薬学】講師：伊藤直樹 パワーポイントを使い、漢方薬の試飲も行う。									
到達目標		【薬理学】薬理学の理解を深め、患者が所持している薬がどのようなものかを理解出来るようにする。また、生理学の内分泌系部分の理解をより深めることで、基礎学力を向上させる。 【漢薬学】漢方薬の正しい考え方、扱い方が分かるように漢方の基礎が理解できるようにする。各証に応じた漢薬の意味や効能を理解し、患者が所持している漢方薬を把握できるように学習する。									
使用教材		【薬理学】 「今日の治療薬2012」 南江堂 4830円（税込）						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	自律神経作用薬					9	漢方医学の歴史と基本概念				
2	循環器系作用薬					10	漢方理論による診断法と治療法				
3	消化器系作用薬					11	漢方薬・生薬の分類				
4	呼吸器系作用薬					12	風邪の漢方薬治療				
5	精神神経系作用薬					13	消化器疾患・肥満の漢方薬治療				
6	感染症治療薬					14	精神疾患・冷え性の漢方薬治療				
7	内分泌系治療薬					15	漢方薬の副作用、まとめ				
8	総括										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	関係法規				担当教員名		庄田 元		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師に関わる法律の規定を学ぶ。									
到達目標		あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として守らなければならない規定を理解し、国家資格取得後はそれを遵守できるようにする。									
使用教材		関係法規 第7版						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	序論										
2	第1章 あはき法										
3	第1章 あはき法										
4	第1章 あはき法										
5	第1章 あはき法										
6	第2章 関係法規										
7	第2章 関係法規										
8	まとめ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	社会福祉概論				担当教員名		庄田 元		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		日々変わる医療や社会福祉に関わる事項を学び、あはき師としての社会での役割を知る。									
到達目標		臨床に必要なインフォームド・コンセントや社会から求められるあはき師としての資質を身につける。									
使用教材		必要に応じてプリントを配布社会あはき学 第3版						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	医の倫理										
2	医の倫理										
3	医療保障制度										
4	医療保障制度										
5	医療保障制度										
6	医療保障制度										
7	社会福祉										
8	医療法										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	あん摩マッサージ指圧理論				担当教員名		庄田 元		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		あん摩マッサージ指圧療法の治効理論を現代医学の視点から学び、それに基づいて治療法を組みたてられる基礎力を習得させる。									
到達目標		あん摩マッサージ指圧の治効の基礎を学び、患者に説明が出来るようにする。関連学説も理解する。									
使用教材		あん摩マッサージ指圧理論 第3版						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	第1章										
2	第1章										
3	第1章										
4	第2章										
5	第2章										
6	第3章										
7	第4章										
8	第5章										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	はりきゅう理論Ⅲ				担当教員名		庄田 元		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る									
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		鍼灸療法の治効理論を現代医学の視点から学び、それに基づいて治療法を組みたてられる基礎力を習得させる。									
到達目標		はりきゅうの治効の基礎を学び、患者に説明が出来るようにする。関連学説も理解する。									
使用教材		「はりきゅう理論」 医道の日本社						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	第9章 2. 鍼鎮痛					9	第1～7章の復習				
2	第9章 2. 鍼鎮痛					10	第1～7章の復習				
3	第9章 2. 鍼鎮痛					11	第1～7章の復習				
4	第9章 3. 循環系と鍼灸					12	第1～7章の復習				
5	第9章 4. 運動系と鍼 5. 消化器系と鍼 6. 泌尿器系と鍼					13	第1～7章の復習				
6	第9章 7. リラクセーションと鍼灸 8. 生体防御系と鍼灸					14	第1～7章の復習				
7	第10章					15	まとめ・試験対策				
8	関連学説										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用経穴学				担当教員名		齋藤 美保		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		経絡経穴学などに関する知識をより高度に学習する。									
到達目標		1,2年次に学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床家として深化した知識を習得させる。									
使用教材		「新版 経絡経穴概論」						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	骨度法、経絡、所属経脈					9	筋・骨・神経と取穴部位①上肢				
2	要穴、流注と要穴					10	筋・骨・神経と取穴部位②下肢				
3	手・足関節からの距離、胸腹部横並び、背腰部横並び					11	筋・骨・神経と取穴部位③ 演習問題				
4	奇経八脈					12	解剖学的部位と経穴 演習問題				
5	奇穴					13	現代研究 総合問題①				
6	経穴と取穴部位①上肢					14	総括 総合問題②				
7	経穴と取穴部位②下肢					15	総括 総合問題③				
8	経穴と取穴部位③その他 顔・頭・頸肩部中心										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用刺鍼概論				担当教員名		嶋 正明		
実務経験等		鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションセンターにて非常勤職員として27年勤務。(はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師)									
年次	3学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		特殊な鍼治療の概要、施術方法、効果などを学ぶ。									
到達目標		特殊な鍼治療の概要、施術方法、効果などを理解させる。									
使用教材								評価方法		実技試験	
授業内容											
1	深谷灸法、吸角										
2	灸頭鍼										
3	温竹、美顔鍼、カッサ、耳鍼										
4	知熱灸、皮内鍼										
5	枇杷の葉温灸、棒灸、押灸										
6	臍上温灸、隔物灸										
7	くるみ灸、鍼尖押圧法										
8	ホットパック										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	社会あはき学Ⅲ			担当教員名		庄田 元			
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	通年	種別	講義	時間数	20時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		あはき師の社会的ニーズと役割について、あはき業界の動向や様々な臨床現場の実際を知ることで理解させる。									
到達目標		卒業後の展望や施術所の経営展開についても具体的に考えていく能力と態度を育てる。									
使用教材								評価方法		出席・課題	
授業内容											
1	就職ガイダンス・面接の受け方①					9	業団体説明①				
2	就職ガイダンス・面接の受け方②					10	業団体説明②				
3	卒業生の講話・質疑応答①										
4	卒業生の講話・質疑応答②										
5	東洋療法学校協会 学術大会の参加										
6	東洋療法学校協会 学術大会の参加										
7	東洋療法学校協会 学術大会の参加										
8	免許申請について										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用はりきゅう実技-1				担当教員名		森下 元		
実務経験等		1980年に鍼灸院を開業して40年になります。資格：はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、介護支援専門員鍼灸臨床の実際と神奈川県鍼灸師会、かながわ古典研究会会長として鍼灸医学古典の紹介も行っています。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		東洋医学概論や東洋医学臨床論で学んだ内容を基に、東洋医学的なはりきゅう施術を行えるように診察から施術の組み立てを学ぶ。									
到達目標		東洋医学の四診から得られる情報を基に、補瀉の概念や本治法と標治法の違い、病証に合わせてた治療法を身につける。									
使用教材		プリント配布						評価方法		実技試験	
授業内容											
1	四診のなかの脈診					9	再診の練習				
2	沈部の虚・相生相克					10	陽経の虚実に対する補瀉法				
3	陰経の虚・望診					11	病因				
4	聞診・問診・切診・脈状診					12	病証				
5	証の決定から治療					13	脈診から治療				
6	補法の取穴					14	まとめ				
7	本治法と標治法					15	実技試験				
8	陰実の瀉法										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用はりきゅう実技-2				担当教員名		遠藤 水晶		
実務経験等		鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		症状や目的に合わせ、鍼電極低周波治療器を用い鍼通電を行う。									
到達目標		使用目的を明確にできる。 触診（筋の触り分け）ができる。 目的の筋肉に電気を流せる。									
使用教材		鍼通電療法テクニック 改訂第4版 医道の日本社						評価方法		実技試験（口頭試問含む）	
授業内容											
1	イントロダクション 下腿部					9	臀部				
2	肩周囲部					10	上腕後面・肩周囲部				
3	下肢前面					11	腰部				
4	下肢外側					12	復習				
5	下肢後面					13	チャレンジ①				
6	復習					14	チャレンジ②				
7	上腕部					15	総復習				
8	前腕部										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用あんま指実技（前期）				担当教員名		木村 桃子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麹町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		実技：授業課題の説明・デモンストレーション後、二人組で練習									
到達目標		あんま指理論で得た知識をもとにマッサージの基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。									
使用教材		「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉第2版」 医道の日本社						評価方法		実技試験	
授業内容											
1	徒手実習の練習①					9	徒手実習応用①				
2	徒手実習の練習②					10	徒手実習応用②				
3	徒手実習の練習③					11	徒手実習応用③				
4	徒手実習の練習④					12	徒手実習応用④				
5	徒手実習の練習⑤					13	徒手実習応用⑤				
6	徒手実習の練習⑥					14	徒手実習応用⑥				
7	徒手実習の練習⑦					15	徒手実習応用⑦				
8	徒手実習の練習⑧										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	応用あま指実技（後期）				担当教員名		神田 浩士		
実務経験等		臨床歴：25年（株式会社フレアス、あい治療院ほか） 教員歴：22年									
年次	3学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		徒手療法を行うために必要な身体診察と施術構成の考え方を身につけます									
到達目標		これまで身につけてきた徒手療法（あん摩、マッサージ、指圧）を実践的に活用するために、触診および徒手検査を中心とした身体診察を行い、得られた客観的評価から施術を組み立てられることを目標とします									
使用教材		必要に応じて配布資料を用意します						評価方法		出席・課題	
授業内容											
1	徒手療法の基礎を振り返る					9	下肢の徒手検査：股関節、膝関節、足関節の評価（2）				
2	徒手療法の応用（1）あん摩、マッサージ、指圧の応用					10	腰痛に対する徒手検査と施術構成（1）				
3	徒手療法の応用（2）あま指以外の徒手療法					11	腰痛に対する徒手検査と施術構成（2）				
4	体幹の徒手検査：背部、頸部、骨盤の評価（1）					12	肩こりに対する徒手検査と施術構成（1）				
5	体幹の徒手検査：背部、頸部、骨盤の評価（2）					13	肩こりに対する徒手検査と施術構成（2）				
6	上肢の徒手検査：肩関節、肘関節、手関節の評価（1）					14	首の痛みに対する徒手検査と施術構成（1）				
7	上肢の徒手検査：肩関節、肘関節、手関節の評価（2）					15	首の痛みに対する徒手検査と施術構成（2）				
8	下肢の徒手検査：股関節、膝関節、足関節の評価（1）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	ポリクリニック				担当教員名		星 いつ子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・はりきゅう師として、整形外科クリニック、内クリニック、漢方薬局、各所勤務と往診治療の経験をもとに、当該科目を受け持つ。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		今までに学んだことを統合して臨床の場を想定、臨床実習に向けての練習をする。									
到達目標		学んだことを臨床実習に反映させることができる									
使用教材								評価方法		出席・課題	
授業内容											
1	オリエンテーション					16	カンファレンス				
2	オリエンテーション					17	2年生を患者に施術				
3	カンファレンス					18	カンファレンス				
4	1年生を患者に施術					19	2年生を患者に施術				
5	カンファレンス					20	3年生同士で施術				
6	1年生を患者に施術					21	2年生を患者に施術				
7	カンファレンス					22	カンファレンス				
8	1年生を患者に施術					23	2年生を患者に施術				
9	3年生同士施術					24	3年生同士で施術				
10	1年生を患者に施術					25	カンファレンス				
11	2年生を患者に施術					26	3年生同士で施術				
12	カンファレンス					27	3年生同士で施術				
13	2年生を患者に施術					28	3年生同士で施術				
14	3年生同士で施術					29	3年生同士で施術				
15	2年生を患者に施術					30	カンファレンス				
特記事項		カンファレンスの日も適宜、鑑別や施術の練習をする									

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎経絡学				担当教員名		森下 元		
実務経験等		1980年に鍼灸院を開業して40年になります。資格：はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、介護支援専門員鍼灸臨床の実際と神奈川県鍼灸師会、かながわ古典研究会会長として鍼灸医学古典の紹介も行っています。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		中国古典医学を基本とし、日本で独自に発展してきた経絡治療学の理論を理解させる。									
到達目標		経絡治療学の考え方に基づいた鍼灸治療の基礎を理解させる。									
使用教材								評価方法		実技試験	
授業内容											
1	診察行為					9	モデル治療				
2	相互脉診					10	1対1相互治療				
3	望・聞 腹診					11	モデル治療				
4	問・切					12	相互治療				
5	脉状診					13	総合				
6	証の決定、氣の調整					14	まとめ				
7	相互脉診					15	総括				
8	補法⇒標治										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床実習-2			担当教員名		齋藤 美保、庄田 元、遠藤 水晶、木村 桃子			
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	通年	種別	外部実習	時間数	90時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		校内外の施術所、病院、介護施設、スポーツ施設における臨床の現場を見学したり、できる範囲で患者への接遇や施術者の介助を行ったりすることで、臨床現場を体験する。									
到達目標		実際に見学したり、体験したりすることを通して、臨床にあたっての自らの課題を見つけ、克服する努力をし、卒業後の自らの進路を考え、施術を行う者としての責任の在り方を考える。									
使用教材							評価方法		出席・課題		
授業内容											
1	徒手臨床実習					16	はりきゅう臨床実習				
2	徒手臨床実習					17	はりきゅう臨床実習				
3	徒手臨床実習					18	はりきゅう臨床実習				
4	徒手臨床実習					19	はりきゅう臨床実習				
5	徒手臨床実習					20	はりきゅう臨床実習				
6	徒手臨床実習					21	はりきゅう臨床実習				
7	徒手臨床実習					22	はりきゅう臨床実習				
8	はりきゅう臨床実習					23	はりきゅう臨床実習				
9	はりきゅう臨床実習					24	はりきゅう臨床実習				
10	はりきゅう臨床実習					25	はりきゅう臨床実習				
11	はりきゅう臨床実習					26	はりきゅう臨床実習				
12	はりきゅう臨床実習					27	はりきゅう臨床実習				
13	はりきゅう臨床実習					28	はりきゅう臨床実習				
14	はりきゅう臨床実習					29	はりきゅう臨床実習				
15	はりきゅう臨床実習					30	はりきゅう臨床実習				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床実習-3				担当教員名		星 いつ子、蜷川 親秀		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	通年	種別	外部実習	時間数	45時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		校内外の施術所、病院、介護施設、スポーツ施設における臨床の現場を見学したり、できる範囲で患者への接遇や施術者の介助を行ったりすることで、臨床現場を体験する。									
到達目標		実際に見学したり、体験したりすることを通して、臨床にあたっての自らの課題を見つけ、克服する努力をし、卒業後の自らの進路を考え、施術を行う者としての責任の在り方を考える。									
使用教材								評価方法		出席・デイリーノート	
授業内容											
1	デイサービス実習（校外施設）					16	スポーツ施設実習（外部）				
2	デイサービス実習（校外施設）					17	スポーツ施設実習（外部）				
3	デイサービス実習（校外施設）					18	スポーツ施設実習（外部）				
4	デイサービス実習（校外施設）					19	スポーツ施設実習（外部）				
5	デイサービス実習（校外施設）					20	スポーツ施設実習（外部）				
6	デイサービス実習（校外施設）					21	スポーツ施設実習（外部）				
7	デイサービス実習（校外施設）					22	スポーツ施設実習（外部）				
8	デイサービス実習（校外施設）					23	スポーツ施設実習（外部）				
9	デイサービス実習（校外施設）					24	スポーツ施設実習（外部）				
10	デイサービス実習（校外施設）					25	スポーツ施設実習（外部）				
11	スポーツ施設実習（外部）					26	スポーツ施設実習（外部）				
12	スポーツ施設実習（外部）					27	スポーツ施設実習（外部）				
13	スポーツ施設実習（外部）					28	スポーツ施設実習（外部）				
14	スポーツ施設実習（外部）					29	スポーツ施設実習（外部）				
15	スポーツ施設実習（外部）					30	スポーツ施設実習（外部）				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	人体の構造と機能Ⅰ				担当教員名		木村 桃子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として治療院勤務をもとに当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		解剖学などに関する知識をより高度に学習する。									
到達目標		これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。									
使用教材		「解剖学」 医歯薬出版 5500円						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	人体の構成					9	中枢神経系				
2	骨格、関節					10	伝導路				
3	筋（頭頸部・上肢）					11	末梢神経系（脳神経）				
4	筋（体幹・下肢）					12	末梢神経系（脊髄神経・自律神経）				
5	循環器系					13	感覚器系				
6	消化器系					14	神経系・感覚器系まとめ				
7	呼吸器系、泌尿器系					15	運動器系・内臓器系まとめ				
8	生殖器系、内分泌系										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	人体の構造と機能Ⅱ				担当教員名		庄田 元		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		生理学などに関する知識をより高度に学習する。									
到達目標		これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。									
使用教材								評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	生理学の基礎					9	神経				
2	循環					10	神経				
3	呼吸					11	筋肉				
4	消化と吸収					12	運動				
5	代謝と体温					13	感覚				
6	排泄					14	特殊感覚				
7	内分泌					15	生体防御機構				
8	生殖										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	症候学各論				担当教員名		星 いつ子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		臨床医学各論などに関する知識をより高度に学習する。									
到達目標		これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。									
使用教材		「臨床医学各論」 医歯薬出版 5500円						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	感染症					9	整形外科 2				
2	消化管					10	循環器				
3	肝胆膵					11	血液・造血器				
4	呼吸器					12	神経疾患 1				
5	腎・尿器					13	神経疾患 2				
6	内分泌					14	リウマチ・膠原病				
7	代謝・栄養					15	その他（耳鼻科・皮膚科・眼科等）				
8	整形外科 1										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	診断病態生理				担当教員名		星 いつ子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		臨床医学総論・病理学などに関する知識をより高度に学習する。									
到達目標		これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。									
使用教材		「病理学概論、臨床医学総論」 医歯薬出版 5500円						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	医療面接					9	病因				
2	触診、打診					10	循環障害				
3	聴診					11	退行性病変				
4	バイタルサイン					12	進行性病変				
5	神経系の診察					13	免疫・炎症				
6	運動器系の診察					14	腫瘍				
7	まとめ					15	まとめ				
8	病理学概論										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	疾病と予防				担当教員名		齋藤 美保、木村 桃子		
実務経験等		あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		衛生学、リハビリテーション医学などに関する知識をより高度に学習する。									
到達目標		これまでに学んだ知識の再確認、再習得、統合を行い、臨床に向け、深化した知識を習得させる。									
使用教材		「リハビリテーション医学、衛生学・公衆衛生学」 医歯薬出版 3 4 00円＋税						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	リハビリテーション総論					9	公衆衛生学の意義、健康				
2	障害の評価					10	ライフスタイルと健康				
3	理学療法、作業療法、義肢装具					11	環境と健康				
4	脳血管障害					12	産業保健、精神保健				
5	脊髄損傷					13	母子保健、高齢者保健				
6	その他の疾患					14	感染症、消毒法				
7	総合					15	保健統計、まとめ				
8	まとめ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学総合論				担当教員名		遠藤 水晶		
実務経験等		鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要		東洋医学的な治療を行う場合の基礎となる東洋医学の歴史から、東洋医学による生理病理、思想、診察方法、治療論などを復習し、知識の習熟度を深める。									
到達目標		東洋医学概論の知識をもとに、病態生理に基づいて適切な経穴を選択できる臨床能力を養う（あはきの歴史含む）。									
使用教材		「東洋医学概論・東洋医学臨床論（学校協会教科書）」 医道の日本社						評価方法		筆記試験	
授業内容											
1	陰陽・五行論、気血津液					9	難経六十九難				
2	気血津液生理					10	要穴				
3	臓腑生理					11	東医臨総合①				
4	病因					12	東医臨総合②				
5	気血津液弁証					13	東医臨総合③				
6	古代刺法					14	東医臨総合④				
7	臓腑弁証					15	東医臨総合⑤				
8	臓腑総合										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	身体診察実技				担当教員名		星 いつ子		
実務経験等		・ 整形外科クリニック、内科クリニック、漢方薬局併設鍼灸院などでの勤務経験を活かし、専門学校で非常勤講師として4年、専任教員として15年勤務。									
年次	3学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		徒手検査法、診察学、東洋医学臨床論で学んだ検査法や診察法を、実践を通して繰り返し習得させる。									
到達目標		疾患の鑑別、特定が出来るような検査の順序・実施方法、治療方法など、臨床に即応できる技術を身に付ける。									
使用教材								評価方法		実技試験	
授業内容											
1	導入、血圧測定					9	頸肩部の疾患に対する検査、鑑別				
2	基本的な刺鍼と施灸の技術 1					10	頸肩部の疾患に対する治療の組み立て				
3	基本的な刺鍼と施灸の技術 2					11	下肢の診察に必要な検査 1				
4	深部腱反射等、MMT、ROM					12	膝の周囲の疾患に対する検査、鑑別				
5	体幹部の診察に必要な検査 1					13	膝周囲の疾患に対する治療の組み立て				
6	腰部の疾患に対する検査、鑑別					14	座位・臥位で行う検査、東洋医学的な検査				
7	腰部の症状に対する治療の組み立て					15	まとめ				
8	頸肩部の診察に必要な検査 1										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎中医学				担当教員名	金子 朝彦			
実務経験等		鍼灸院を開院して33年(はり師きゅう師)。長年の臨床経験から得た知識や思考方法などを自書、医道の日本.中医臨床、TEHAMOなどに発表してきました。それをダイジェスト化し学生に伝えていきます。									
年次	3学年	開講期	後期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要		現在、中国で行われている中国伝統医学を基本として発展している中医学の理論を理解させる。									
到達目標		中医学の考え方に基づいた鍼灸治療の基礎を理解させる。									
使用教材		教科『問診のすすめ』東洋学術出版社						評価方法		テストにより合否判定	
授業内容											
1	中医構造論と歴史					9	教科書『問診のすすめ』各論に従い進める。				
2	実技 補瀉					10	実技 婦人科				
3	問診					11	教科書『問診のすすめ』各論に従い進める。				
4	実技、穴性					12	実技 日常臨床を体験				
5	教科書『問診のすすめ』各論に従い進める。					13	教科書『問診のすすめ』各論に従い進める。				
6	実技 各種道具の使い方					14	実技 総括				
7	教科書『問診のすすめ』各論に従い進める。					15	テスト				
8	実技 痹証										
特記事項		実家において寸3一番、寸6二番を使用。 粗艾少々									